

令和六年第五回薩摩川内市議会定例会 施政方針等の概要

令和六年第五回市議会定例会の開会に当たり、市政に対する所信と基本的な方針を申し上げますとともに、このたび提案いたしました補正予算案等の概要を御説明し、議員各位並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

まず、先の臨時会において、下園政喜議長、森満晃副議長を始め、議会運営委員会、各常任委員会・特別委員会の委員が選任され、新たな議会構成が順調になされましたことは、誠に御同慶に堪えません。

また、副市長及び監査委員などの人事案件につきましても御同意をいただき、改めて深く感謝を申し上げます。早速辞令を交付し、新しい体制をスタートさせたところであります。

議員の皆様におかれましては、引き続き、本市の施策や課題等について御指導、御鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、私は、市長二期目に当たり、これまでのビジョンを発展的に再構築した、新たな「未来創生一〇ビジョン」を掲げました。この「未来創生一〇ビジョン」は、先の第三回定例会において議決いただきました第三次薩摩川内市総合計画基本構想をベースとした、本市の未来発展に向けた将来ビジョンであり、

「未来創造ビジョン」と「地方創生ビジョン」の二本の柱で構成しております。

まず、未来創造ビジョンにつきましては、「少子化対策・子育て支援」、「S D G s・カーボンニュートラル・スマートシティ」、「産業経済」、「文化・スポーツ・観光」及び「防災・社会基盤」の五つのビジョン、二十一の取組を推進することにより、未来における更なる発展を目指すものであります。

また、地方創生ビジョンは、「地域デザイン」、「人材の育成・活躍」、「コミュニティ・市民活動・環境」、「健康・福祉」及び「市役所改革」の五つのビジョン、二十の取組を推進することにより、市域全体の均衡ある発展を図るものであります。

私は、この「未来創生一〇ビジョン」を基本的な考えとしながら、これまでの広聴・広報の検証など一期目の市政運営を振り返り、今後においては、「世代を超えて笑顔でつながり、楽しい集いのまち」の実現に全力で取り組む所存であります。

この笑顔あふれるまちの実現に向けて、先ほどの地方創生ビジョンの「地域デザイン」において、「笑顔」アクションプランの策定を掲げており、これから四年間で、特に力点を置く、具体の五十の事業からなる「スマイルアクション五〇」の素案を取りまとめたところであります。S D G sの三側面である社会、環境、経済と、実行性を高める実現の四分野における

事業を示し、今後、第三次薩摩川内市総合計画前期基本計画の策定作業と並行して、本年度末までに内容を取りまとめていく考えであります。

この「スマイルアクション五〇」では、先の第三回定例会で議員の皆様方から御意見を賜りました学校体育施設の開放時における電気料実費徴収について、社会スマイル事業の地区コミュニティ活性化事業に位置付け、来年四月からの無償化に向けた検討を進めているところであり、このほか、本市の喫緊の課題である「少子化対策・子育て支援」につながる事業も多く含めております。この少子化及び子育てに関する取組につきましては、現在、少子化対策・子育て支援戦略推進本部を中心に、戦略実行方針の策定、理念条例の制定及び基金設置を含めた財源の検討等を進めており、令和七年第一回定例会での提案を目指して参ります。

さて、これからの市政を展望いたしますと、第三次薩摩川内市総合計画の始期となる令和七年度以降においても、様々な節目の時期を迎えるとともに、年次的に整備を進めてきた事業が完了して参ります。

早速、令和七年四月には、さつま町消防本部及び阿久根地区消防組合との共同管理による通信指令センターの運用を開始するとともに、甕島の新たな交流拠点となる甕ミュージアムが

オープンいたします。また、令和七年は、甑島の国定公園指定から十周年、蘭牟田池のラムサール条約登録から二十周年を迎える節目の年となります。

さらに、本市の地域経済の発展に資する「五つの現場」と位置付ける重要港湾川内港、川内港久見崎みらいゾーン、サーキュラーパーク九州、川内宮之城道路、高城産業用地においても、国や県、関係事業者などとの緊密な連携の下、資源循環・産業拠点の創出の実現に向けた整備や分譲の促進を図って参ります。

これらの事業展開とともに、国・県の動向にも注視しながら、施策推進に必要な体制整備と財源確保を確実に行之、健全で持続可能な行財政運営に努めて参ります。

このような展望を見据えつつ、私は、先の臨時会において御説明いたしました記念式典等の市誕生二十周年記念事業のほか、本市の未来創生につながる様々な取組を鋭意進めております。

防災対策につきましては、先月二十五日に、里町の「HOTEL Area One Koshiki Island」を津波避難ビルに指定する「津波災害又は高潮などによる災害時における緊急一時避難施設としての使用に関する協定」を、エリアワンエンタープライズ株式会社と締結いたしました。今後、地域住民や旅行者等の皆様の避難の円滑化を図り、市民等

の安全・安心の確保に努めて参ります。

スポーツ・観光につきましては、今月二日に、バスケットボール活動を通じて、地域活性化を図るために、株式会社鹿児島レブナイズ及び薩摩川内市バスケットボール協会と連携協定を締結いたしました。また、今月六日には、公益社団法人日本ホッケー協会が設立百周年を記念して創設した「公式ホッケータウン」に本市が認定されたことを受け、同協会を訪問し、御礼とともにホッケー日本代表チーム等の合宿誘致を行ったところであります。今回の認定は、これまで実施してきたホッケー競技の強化や普及・振興の実績が評価されたものであり、これらの活動を通じて地域活性化に御尽力いただきました関係者の皆様に心より敬意を表します。このように昨年の特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」における本市開催競技に係る取組等を継続し、持続的なスポーツの振興につなげて参ります。また、今月二十四日には、市比野温泉よさこい祭りが、県内外から四十一チーム・約四百名の踊り連の参加により盛大に開催され、新たな交流の創出が図られたところであります。

市政課題等に関する国等への働き掛けにつきましては、今月六日に、自由民主党幹事長の森山裕衆議院議員と個別に面談し、「五つの現場」の進捗状況を説明するとともに、整備促進に向けた要望を行いました。特に、川内港臨海ゾーンへの交通アク

セスの早期整備において重要である南九州西回り自動車道阿久根川内道路の湯田トンネル着工及び川内宮之城道路の高規格道路への位置付けについて、強く要望いたしました。併せて、川内港における鹿児島県のガントリークレーンの設置に係る検討状況についても報告を行ったところであります。

また、今月十三日に、東京都内で、南九州西回り自動車道建設促進大会が開催され、早期完成に向けた気運を高めたほか、鹿児島県及び熊本県の両県関係者の方々と、関係省庁に対して要望活動を行い、地元の熱い思いを伝えたところであります。さらに、同日、川内港整備促進期成会により、国土交通省に対して、唐浜地区国際物流ターミナル整備事業の促進や早期完成、船舶の大型化への対応等を強く要望いたしました。この中において、私から、稲田雅裕港湾局長に対して、航路サービス継続のために、船社における船舶の大型化の時期等に関して情報収集を行っていたかどうか、お願いしたところであります。

今月二十二日、私は、原子力規制庁を訪問し、金子修一次長と面談いたしました。川内原子力発電所につきましては、既に一号機が本年七月に運転開始から四十年が経過し、来年十一月には、二号機も四十年を迎えることになります。これらを踏まえ、改めて、電気事業者への厳格な指導・監督を要請いたしました。また、経済産業省資源エネルギー庁も訪問し、山田仁

資源エネルギー政策統括調整官に対して、原子力発電所立地地域の振興に関する諸制度の改善・拡充を要望するとともに、原子力防災対策等における避難経路として、南九州西回り自動車道阿久根川内道路の整備加速を訴えました。

今後、第三次薩摩川内市総合計画基本構想に掲げた未来のまちの姿である「人が繋がり 人が輝く 安らぎと賑わいのまち 薩摩川内」の実現に向け、市議会の御意見や市民の皆様の声に耳を傾けながら、広聴・広報、情報公開を基本姿勢として、本年度末に決定する前期基本計画と整合を図り、「スマイルアクション五〇」で示す「楽しく、笑顔がつながり、人が集うまちづくり（スマイルコミュニティ）」と「人と経済が循環するまちづくり（サーキュラー都市）」に資する事業に、積極果敢に取り組み、薩摩川内市の未来創生に向けた歩みを更に力強く、着実に進めて参ります。

今月十九日に出水市において、鹿児島県内の養鶏場では今シーズン初めてとなる高病原性鳥インフルエンザの疑い事例が発生したことを受けて、本市では、同日、家畜伝染病警戒本部会議を開催いたしました。これまで、未然の防止策として、先月二十五日に、百羽以上を飼養する養鶏農家に消石灰の無償配布を行ったほか、今月一日には、公共施設に消毒マットを設置しております。これらに加えて、今回の発生の情報を受けて、

速やかに、養鶏農家への注意喚起や市ホームページ等による市民周知、消毒ポイントへの動力噴霧器等の資機材の支援などを実施したところであり、今後も、関係機関と連携を図りながら、徹底した防疫対策を実施して参ります。

次に、今回の補正予算案の概要について御説明いたします。

今回の補正予算案については、一般会計において、十九億五千五百四十四万九千円の増額補正を、八特別会計において、四億二百十九万七千円の増額補正を、また、下水道事業会計に係る債務負担行為設定の補正を提案したものであります。

一般会計につきましては、歳出において、小学校就学前の子どもに教育や保育を提供する保育所や認定こども園等の運営に関する経費や、台風十号等に伴う災害復旧事業及び市民生活の安全・安心につながる道路維持補修事業等に係る経費などを増額しております。

歳入においては、収入見込みにより市民税等を増額したほか、補助事業の内示等に伴う国県支出金や繰越金の増額などを行っております。

各特別会計におきましては、執行見込み等により所要の経費の調整を行っております。

なお、今定例会におきましては、補正予算案のほか、薩摩川内市債権管理条例の制定についてをはじめとする各議案につい

て御審議をお願いしております。

提案いたしました各議案等の細部につきましては、主管部・課長から説明させますので、何とぞ慎重なる御審議を賜りますようお願い申し上げます。